ダイバーシティと
これからの働き方・生き方

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主任研究員
理化学研究所未来戦略室客員研究員

青木志保子

自己紹介

青木志保子

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主任研究員／
理化学研究所未来戦略室客員研究員

経歴

横浜国立大学教育人間科学部地球環境過程学士（理学）

東京大学新領域創成科学研究科環境システム学修士（工学）

2008年　福生市役所入庁（環境課）

2012年　一般社団法人環境ビジネスウィメン 官民連携コーディネーター（環境省プロジェクト他）

2013年　NPO法人BeGood Café 官民連携コーディネーター（経済産業省プロジェクト他）

2015年ー　国際大学GLOCOM　主任研究員

2018年－　理化学研究所 未来戦略室 客員研究員

Key interest :　「環境」、「社会課題」、「対話」、「未来社会」

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

本日のアジェンダ

①情報化社会と情報モラル

② これからの社会を展望する

③ダイバーシティとこれからの働き方・生き方

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

①情報化社会と情報モラル

①情報化社会（ネット社会）の現状？

玉石混交な情報

IDEAS FOR GOODマガジン「SDGｓウォッシュとは」
https://ideasforgood.jp/glossary/sdgs-washing/より

フェイクニュース

> コロナウイルスは熱に弱く、26~27度の
> お湯を飲むと殺菌効果がある
> ―SNSで複数投稿

https://fij.info/coronavirus-feature/nationalより

炎上

https://backyard.imjp.co.jp/articles/enjo_kousatsuより

ネット疲れ、SNS離れ

星のや「脱デジタル滞在」

星野リゾート公式HPより

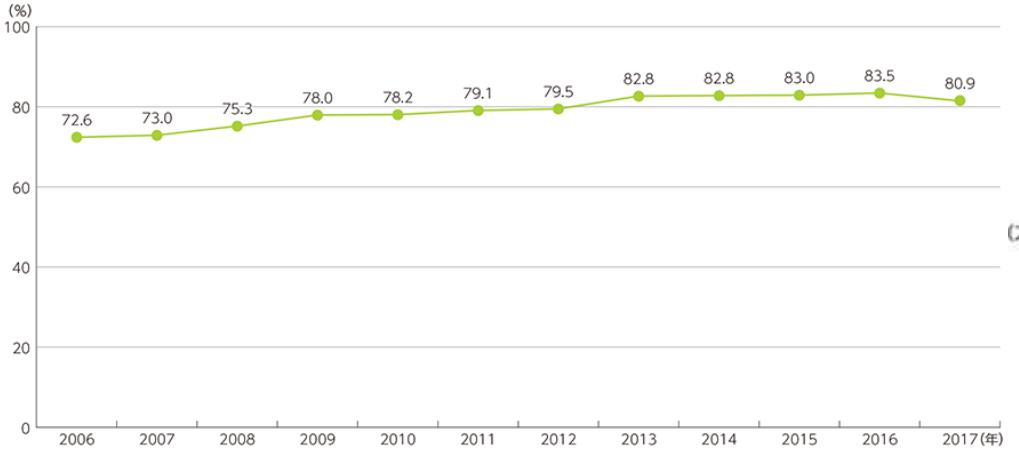
© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

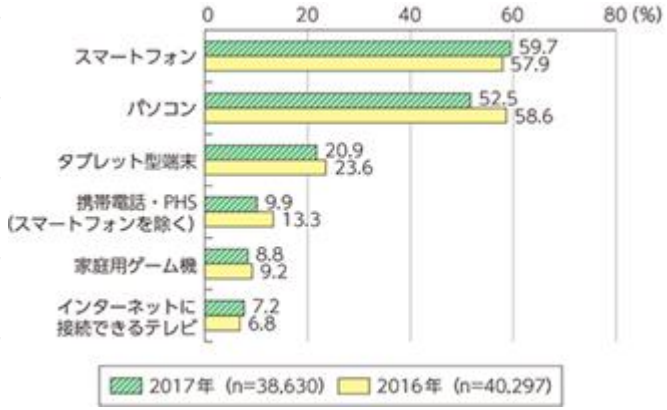
①情報化社会の現状：１　どれくらいの人が利用しているのか

インターネット、SNSとも国民のおよそ80％が利用

●インターネット利用率の推移とインターネット利用端末の種類

総務省,通信利用動向調査
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.htmlより





●主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率（全年代・年代別）

総務省情報通信政策研究所,平成30年度 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書より
https://www.soumu.go.jp/iicp/research/results/media_usage-time.html

	全年代(N=1500)	10代(N=141)	20代(N=209)	30代(N=257)	40代(N=324)	50代(N=270)	60代(N=299)	男性(N=757)	女性(N=743)
LINE	82.3%	88.7%	98.1%	93.4%	87.7%	82.6%	52.8%	79.0%	85.7%
Twitter	37.3%	66.7%	76.1%	41.6%	34.0%	23.0%	9.0%	37.5%	37.0%
Facebook	32.8%	17.0%	47.4%	49.8%	36.7%	29.3%	14.4%	32.8%	32.8%
Instagram	35.5%	58.2%	63.2%	44.0%	35.8%	24.4%	8.0%	28.4%	42.8%
mixi	4.5%	2.8%	9.1%	5.4%	5.6%	2.6%	1.7%	5.2%	3.8%
GREE	2.0%	3.5%	4.3%	2.7%	1.5%	1.5%	0.0%	2.4%	1.6%
Mobage	4.0%	7.8%	7.2%	4.3%	3.7%	3.7%	0.3%	6.2%	1.7%
Snapchat	2.0%	5.7%	7.7%	0.8%	0.3%	0.7%	0.3%	1.8%	2.2%
TikTok	10.3%	39.0%	21.1%	7.8%	6.5%	4.8%	0.3%	9.0%	11.6%
YouTube	75.7%	91.5%	92.8%	88.7%	81.8%	73.3%	40.5%	77.0%	74.3%
ニコニコ動画	16.7%	31.2%	35.4%	16.0%	13.6%	11.1%	6.0%	20.3%	13.1%

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

GLOCOM
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

①情報化社会の現状：２　ポジティブな側面・ネガティブな側面

ポジティブな側面

- 誰でも情報にアクセスできる
  （情報の民主化）
- **情報の非対称性の緩和**　#1
- **情報を誰もが発信できる**　#2
  ＝一億総メディア時代
- 発信、共有、仲間ができる（SNS)、
  ムーブメント・民主主義の促進
- **消費の押上効果**　#3

ネガティブな側面
（または課題）

- 情報が玉石混合
- 個人情報、センシティブな内容の取り扱い
- **炎上**　#4
- **フィルターバブル、エコーチェンバー**　#5
- **フェイクニュース**　#6
  （disinformation、misinformation）

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

①情報化社会のポジティブな側面　#1情報の非対称性の緩和、#2一億総メディア時代

「情報の非対称性の緩和」

提供者＞＞消費者 → **生産者⇔消費者**

Rakuten

食べログ

amazon

@cosme 2018年保存版表紙より

「一億総メディア時代」

マスメディア →

- **Youtuber**
- **プロシューマー**

https://www.iza.ne.jp/kiji/entertainments/news/130928/ent13092815130003-n1.htmlより

YouTube

note

HikakinTV／YouTubeより

https://minne.com/@sakitot/profileより

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

GLOCOM
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

①情報化社会のポジティブな側面　#3消費の押上効果

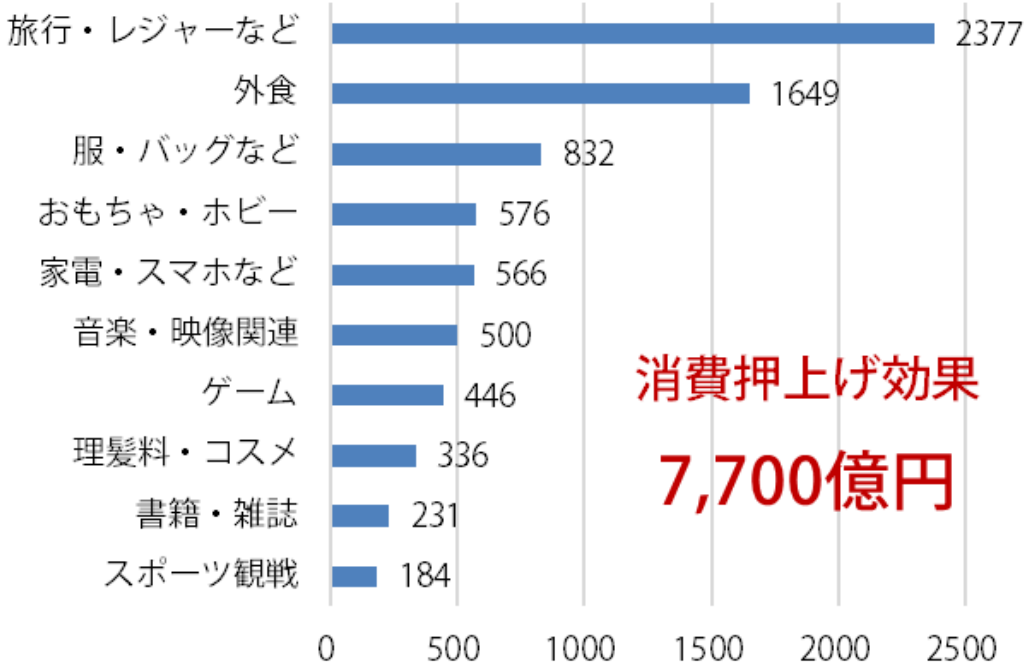
INNOVATION NIPPON

●家電や外食など6分野での消費喚起効果

日本テレビ「NEWS ZERO」より

Yamaguchi, S., Sakaguchi, H., & Iyanaga, K. (2018). The Boosting Effect of E-WOM on Macro-level Consumption: A Cross-Industry Empirical Analysis in Japan. The Review of Socionetwork Strategies, 12(2), 167-181.

●「インスタ映え」の経済効果（億円/年）



山口真一, 佐相宏明, & 青木志保子. (2018). 「インスタ映え（SNS映え）」の経済効果に関する実証分析. GLOCOM Discussion Paper, 19(1), 1-19.より

© innovation nippon.

①情報化社会のネガティブな側面　#4炎上

●ムーニーワンオペ動画？騒動

https://backyard.imjp.co.jp/articles/enjo_kousatsuより

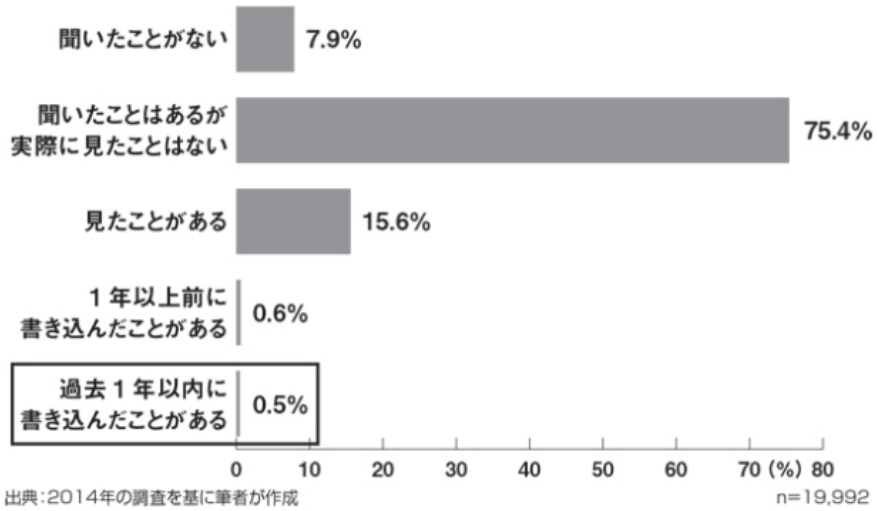
●5輪エンブレム騒動

https://www.itmedia.co.jp/news/articles/1508/05/news094.htmlより

炎上は1年に絞ると約0.5%の人しか書き込んでいなかった。

（2014年調査・男女19,992人対象）

【図】 炎上とのかかわり方



炎上加担の動機は「正義感」に基づいている人が多い。どの炎上でも60～70%程度。

（2016年調査調査対象・男女40,504人対象）

国際大学
グローバル・コミュニケーション・センター
准教授
山口真一

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

‘見たい情報のみを見る’&‘自分の考えがあっている’

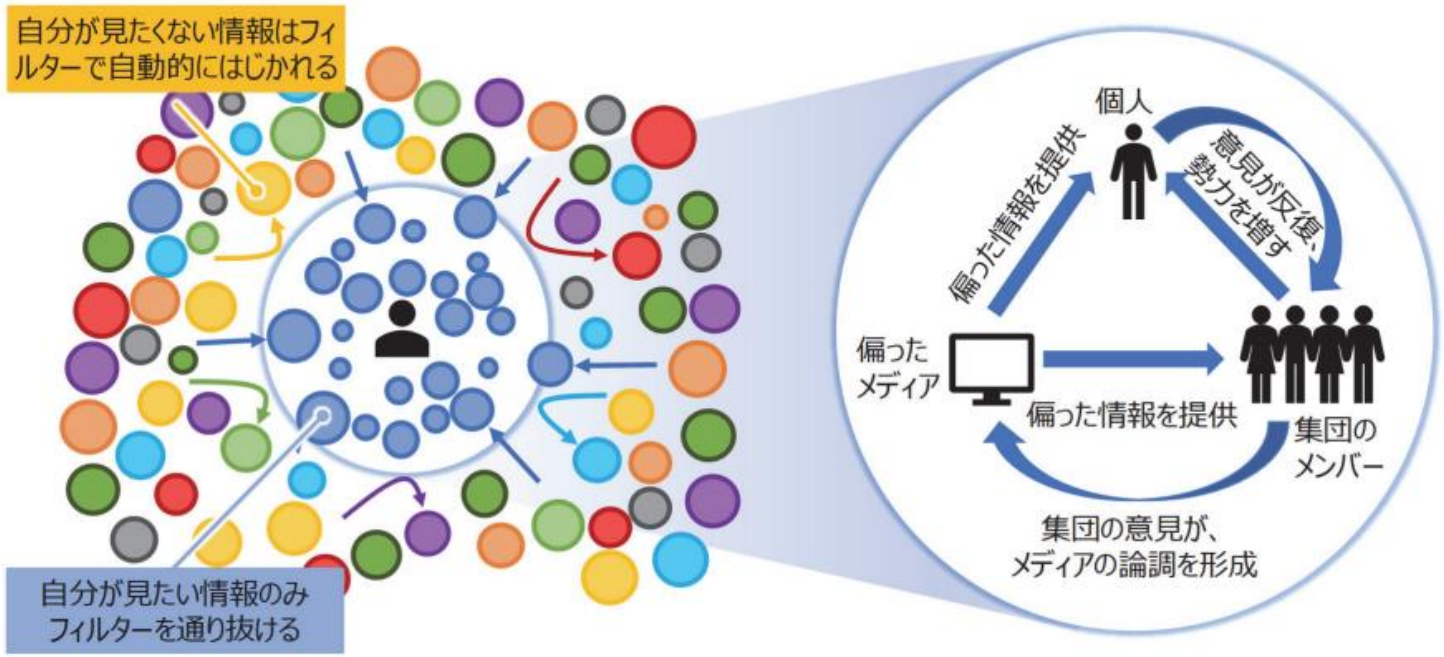
フィルターバブル

検索エンジンやSNSなどの最適化アルゴリズムによって、ユーザーが見たい情報ばかり見えてしまう現象

×

エコーチェンバー

自分と同じ意見の人々ばかりのコミュニティー内で、コミュニケーションを繰り返すことによって、自分の意見が増幅・強化される現象



三菱総合研究所レポート
https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/ecovision/dia6ou000001mwnz-att/ei20191025_mirai2050-1-5.pdfより

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

①情報化社会のネガティブな側面　#6 フェイクニュース

◆世界

米大統領選の間にネット上で流れた主なフェイクニュース
「ローマ法王がトランプ支持を公式に表明した」
「クリントンは、トランプが勝った場合には内戦を始めるつもりだ」

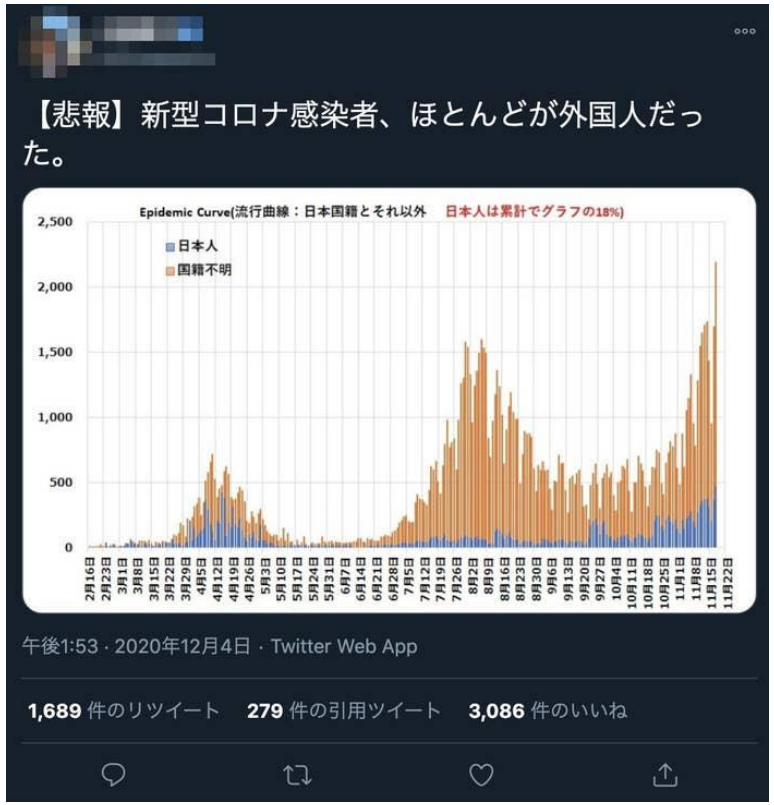
https://gendai.ismedia.jp/articles/-/50786

http://www.innovation-nippon.jp/reports/2019IN_report_digest.pdf

◆日本

新型コロナに関するフェイクニュース
「新型コロナ感染者、ほとんどが外国人」
（元東大特任准教授らがグラフ拡散）

https://www.buzzfeed.com/jp/kotahatachi/20per-japan-2



© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

GLOCOM
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

「フェイクニュース」は多様

正確	事実の誤りはなく、重要な要素が欠けていない。
ほぼ正確	一部は不正確だが、主要な部分・根幹に誤りはない。
ミスリード	一見事実と異なることは言っていないが、釣り見出しや重要な事実の欠落などにより、誤解の余地が大きい。
不正確	正確な部分と不正確な部分が混じっていて、全体として正確性が欠如している。
根拠不明	誤りと証明できないが、証拠・根拠がないか非常に乏しい。
誤り	全て、もしくは根幹部分に事実の誤りがある。
虚偽	全て、もしくは根幹部分に事実の誤りがあり、事実でないと知りながら伝えた疑いが濃厚である。
判定留保	真偽を証明することが困難。誤りの可能性が強くはないが、否定もできない。
検証対象外	意見や主観的な認識・評価に関することであり、真偽を証明・解明できる事柄ではない。

misinformation

Disinformation

●NPO法人ファクトチェック・イニシアティブによる「ファクトチェック・ガイドライン」 https://fij.info/より

判定が難しい。コストがかかる。

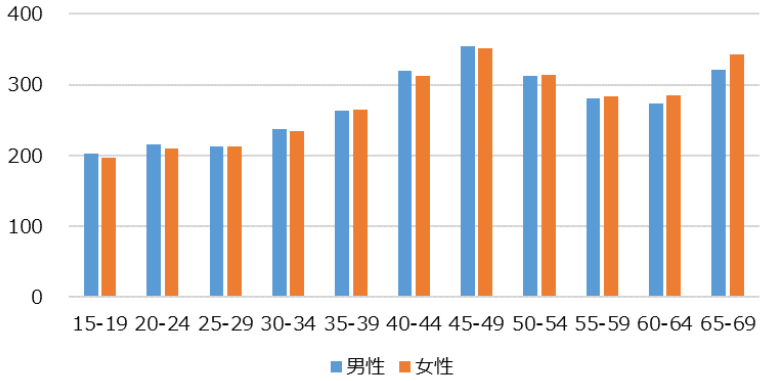
© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

①情報化社会のネガティブな側面　#6 フェイクニュース

INNOVATION NIPPON

アンケート調査分析

- 実施期間：2020年1月。
- 対象：15歳～69歳の男女。
- 予備調査は性年代別の人口、本調査はニュース接触者の性年代別人数に応じて層化抽出法で取得。
- サンプルサイズは予備調査15,000人、本調査6,000人。



本調査の性年代別サンプルサイズ

◆ フェイクニュースに対する行動調査

➢ 8分野9つのフェイクニュース（ファクトチェック済・2019年に話題）を対象。

① 新国立競技場の「月極駐車募集中」の英訳が「The moon ultra parking is being recruited.」とでたらめである。
② 京都アニメーションの放火・殺人事件について、NHKのディレクターと容疑者の間に接点があり、スクープを撮影するために取材日を容疑者に漏らす等していた。
③ 韓国を旅行していた日本人女児がデパートで暴行されたが、「被害者が日本に帰国したため無罪が妥当と考えられる」として、犯人の男は無罪になった。
④ オランダで5Gの実験電波を飛ばしたところ、近くの木に止まっていたムクドリが大量に死んだ。
⑤ 日本の2019年10月の小売売上高が歴史的低下となり、海外では多く報道されているにもかかわらず、日本ではほとんど報道されなかった。
⑥ 安倍首相が国会論戦において、「富裕層の税金を上げるなんて馬鹿げた政策」と答弁した。
⑦ 蓮舫議員が、平成16年の「児童虐待防止法改正」に反対していた。当該改正では、警察の積極的介入が盛り込まれた。
⑧ アフガニスタンで銃撃されて亡くなった医師の中村哲氏の追悼式典に、日本政府関係者は1人も出席しなかった。
⑨ 台風15号襲来時に、取材に向かうNHKが大原駅の勝浦タクシーを3台貸し切ったため、タクシーが全然いなくなってしまった。

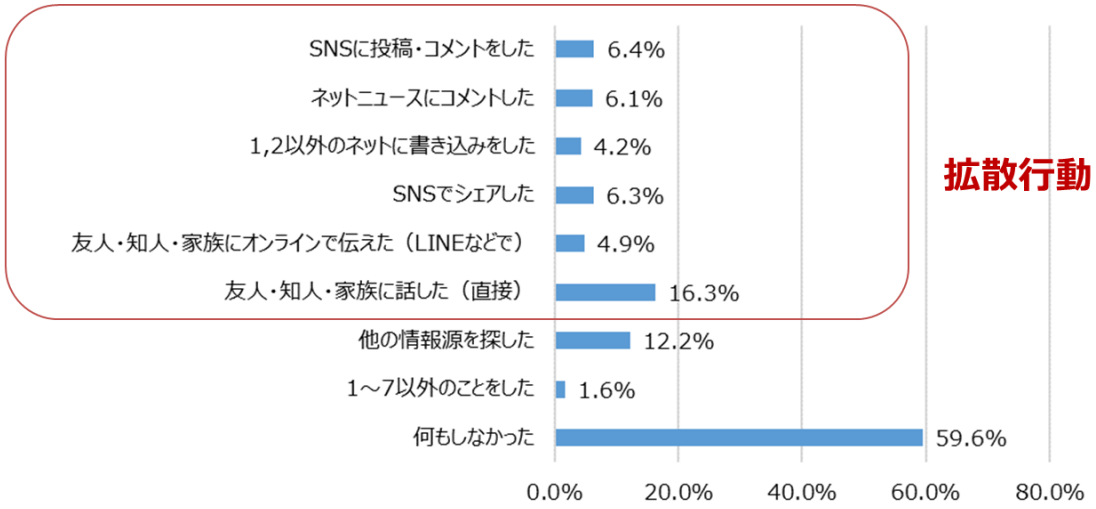
© innovation nippon.

①情報化社会のネガティブな側面　#6 フェイクニュース

INNOVATION NIPPON2019
「日本における
フェイクニュースの実態と対処策」

INNOVATION NIPPON

- 「フェイクニュース」という言葉を知っている人は64%。一方「ファクトチェック」は17%に留まった。
- 約80%以上の人がフェイクニュースを社会問題と考えている。
- たった9つのフェイクニュースでも33.2%が接触（そのニュースを見たことがある）としていた。特に若い世代で接触者が多い。
- 全てファクトチェック済みのフェイクニュースだが、全体的に約75%が信じていた。
- 約20〜30%の人が拡散をしていた。最も多いものが「友人・知人・家族に話す」。



フェイクニュース知った後にとった行動（複数回答・個別事例の回答結果から全体を算出）

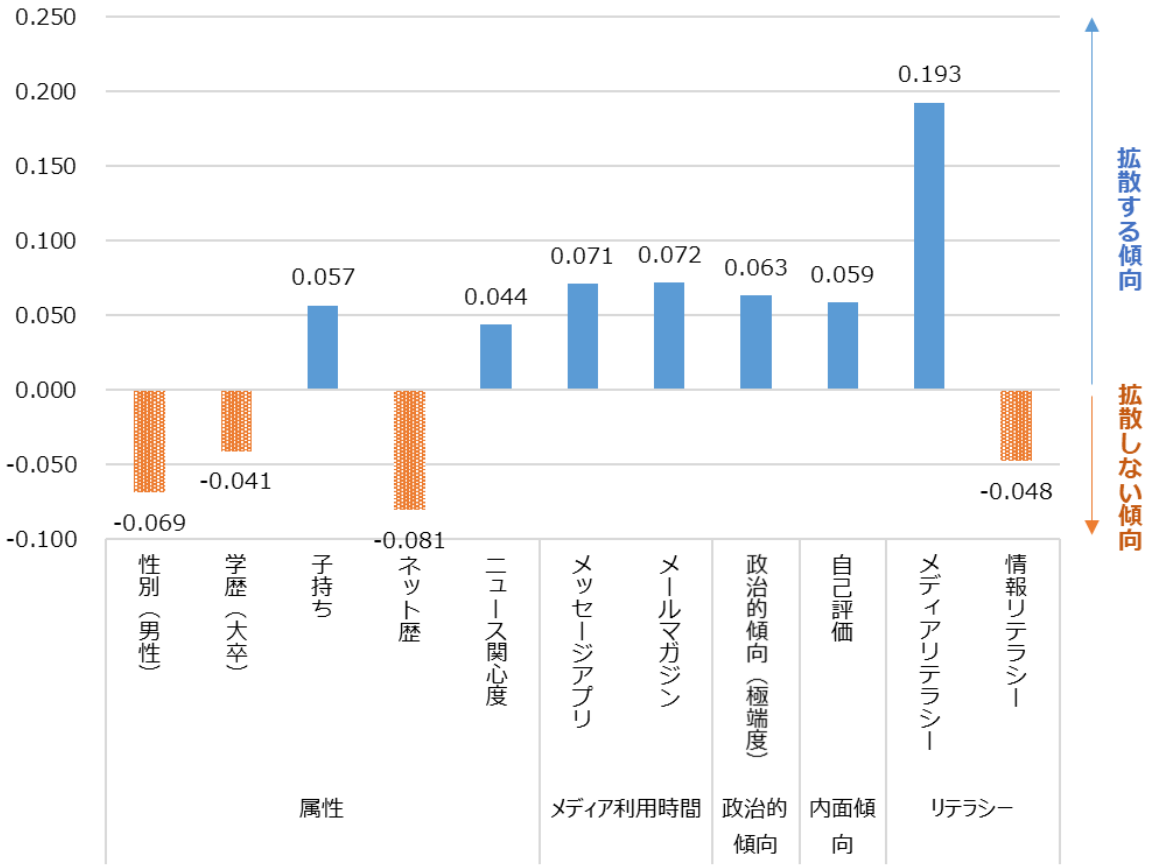
フェイクニュース接触者（n=1,991）の分析

© innovation nippon.

①情報化社会のネガティブな側面　#6 フェイクニュース

INNOVATION NIPPON

- フェイクニュースを信じて拡散する行動分析結果



フェイクニュースを信じて拡散する確率に与える影響（標準化係数）

フェイクニュース接触者（n=1,991）の分析　※10%水準で有意なもの以外は掲載していない

- 属性⇒大卒・ネット歴長いと拡散しない傾向。情報の検証が教育や経験で身に付いている。
- メディア利用時間⇒メッセージアプリ・メルマガ利用で拡散する傾向。閉じた空間で特定の人物や企業から情報を受信。
- 政治的傾向⇒極端な人ほど拡散する傾向（保守・リベラル関係ない）。
- リテラシー⇒情報リテラシーのみ拡散しなくさせる傾向が見られた。メディアリテラシーには「ニュースについて情報交換」等も含まれるため正の相関。

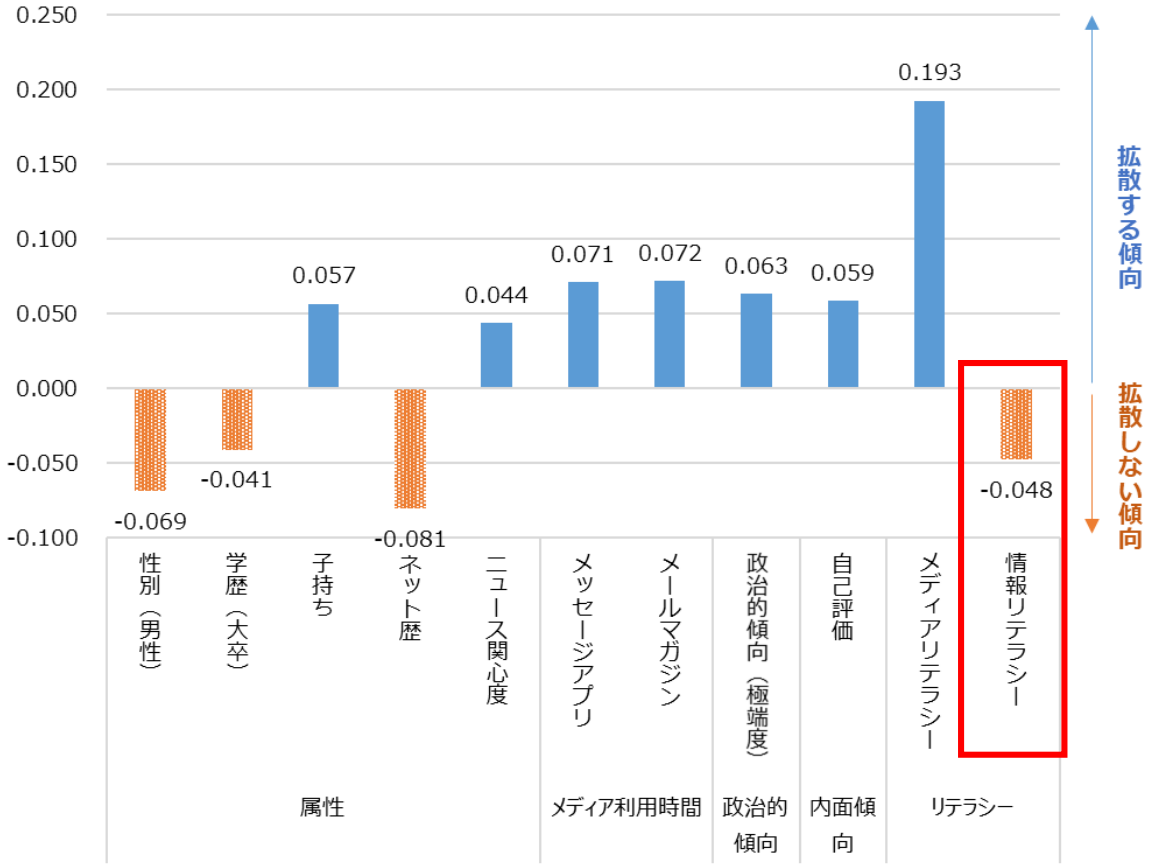
© innovation nippon.

①情報化社会のネガティブな側面　#6 フェイクニュース

INNOVATION NIPPON2019
「日本における
フェイクニュースの実態と対処策」

INNOVATION NIPPON

- フェイクニュースを信じて拡散する行動分析結果



フェイクニュースを信じて拡散する確率に与える影響（標準化係数）

フェイクニュース接触者（n=1,991）の分析　※10%水準で有意なもの以外は掲載していない

【1】以下のものを、きちんと事実か検証されていると思う順番（①事実が検証されている、②、③、④最もきちんと事実が検証されていない）
に順位付けをしてください。

1、ブログ④
2、新聞③
3、学術論文②
4、裁判所による事実の認定①

【2】以下の遺伝子組み換え食品に関する文の内、筆者の意見が入っていないものはどれでしょうか。最も近いものを1つお選びください。

1、遺伝子組み換え食品は世界的な食糧危機をもたらした
2、2013年には新たに15の遺伝子組み換え食品が欧州で認可された
3、遺伝子組み換え実験は止めるべきである
4、大抵の遺伝子組み換え研究者は大企業から大きな収入を得ている

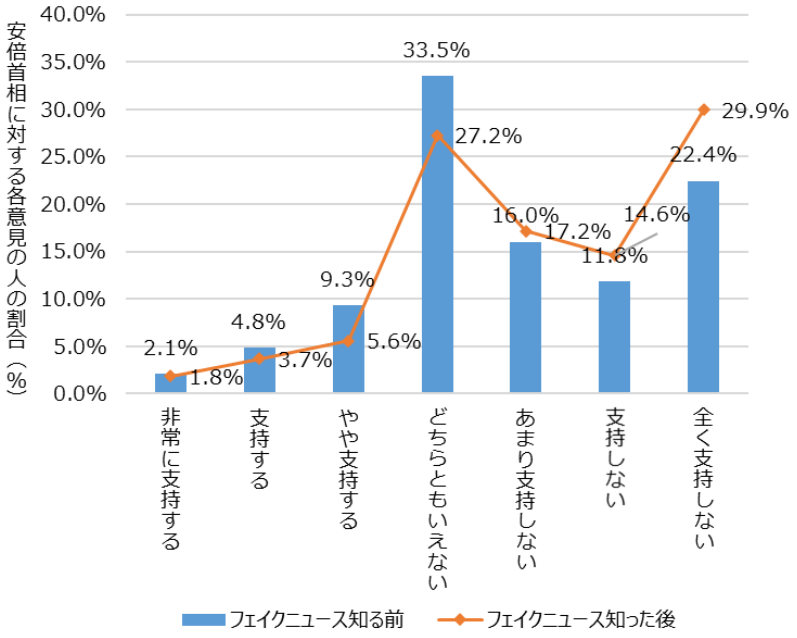
© innovation nippon.

①情報化社会のネガティブな側面　#6 フェイクニュース

- フェイクニュースは人の考えを変えるのか

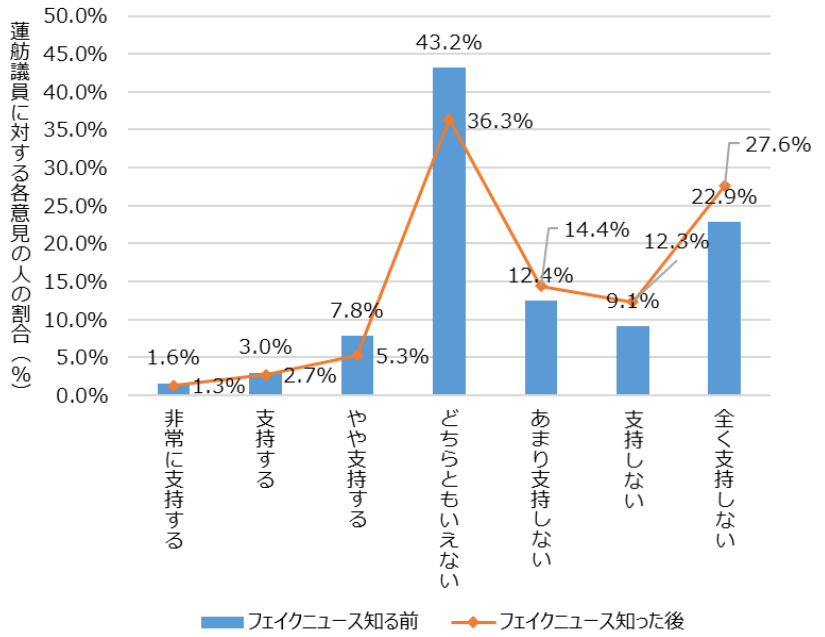
1. 安倍首相が「富裕層の税金を上げるなんて馬鹿げた政策」と答弁。
2. 蓮舫議員が、平成16年の「児童虐待防止法改正」に反対していた。

➢ フェイクニュースによって支持を下げる人は少なくない（分布は右寄りに）。



安倍首相への支持

当該フェイクニュースを信じている人（n=4,297）の分析　※アンケートで知った人含む



蓮舫議員への支持

当該フェイクニュースを信じている人（n=4,615）の分析　※アンケートで知った人含む

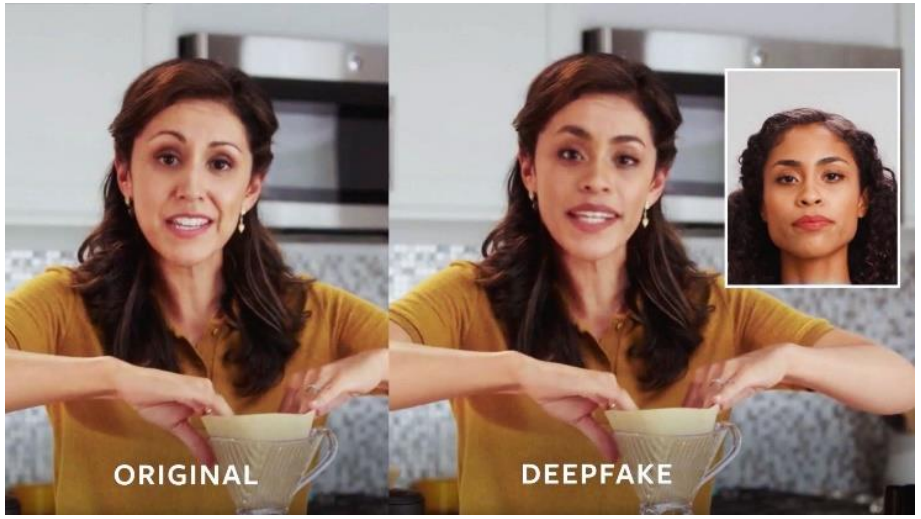
© innovation nippon.

- 今後日本でフェイクニュースが問題となるケース
  - ➢ 憲法改正など政治的に大きく2分するような場合（前嶋、楊井、古田）。
  - ➢ 人の感情を揺さぶる出来事（大災害や事件）が起こった時（八田、楊井）。
  - ➢ ディープフェイクの発展によって日本でも増えていく（笹原）。
  - ➢ 人類に普遍的な現象である（木村、八田）。

災害とデマの歴史

1703年 元禄地震	関東地方を襲ったマグニチュード8クラスの大地震直後、「さらに大地震が来る」とうわさが流れ、商人が一斉に在庫を売り出す。実際には余震が徐々に収まっていった
1923年 関東大震災	地震直後の混乱した状態で、「朝鮮人が放火、暴徒化」などの報道や伝聞が広がり、朝鮮人らが殺傷される被害が起きた。実際には犯罪件数の増加はなかったとされる
1991年 雲仙普賢岳噴火	火砕流による被害発生後、「山が崩壊する」とのうわさで逃げ出す住民も。長崎県島原市がパンフレットで沈静化に乗り出す
2011年 東日本大震災	有害物質や節電のデマの他にも、「うがい薬で放射能の被曝（ひばく）を防ぐ」「外国人の犯罪が増えている」などのデマもインターネットを通じて流れた

https://www.asahi.com/articles/ASK4K74SNK4KULBJ00P.html



https://www.technologyreview.jp/s/176373/making-deepfake-tools-doesnt-have-to-be-irresponsible-heres-how/

© innovation nippon.

①情報化社会と情報モラル

✓情報化社会では、国民の80％以上がインターネットとSNSを使用している。

✓ポジティブな面（情報の民主化、情報の非対称性の緩和、等）、ネガティブな面（炎上、フィルターバブル、disinformation・misinformation等）の両方ある

✓大切なことは**これらの全体像を知ったうえで、個々人が考え・行動をとる**こと

✓調査から見えてきた大切な点（**情報モラル**）

①フィルターバブルの存在≒相手・**違う人の立場に立つ**意識（一呼吸置く）

②情報リテラシーの必要性≒**読解力・国語力**

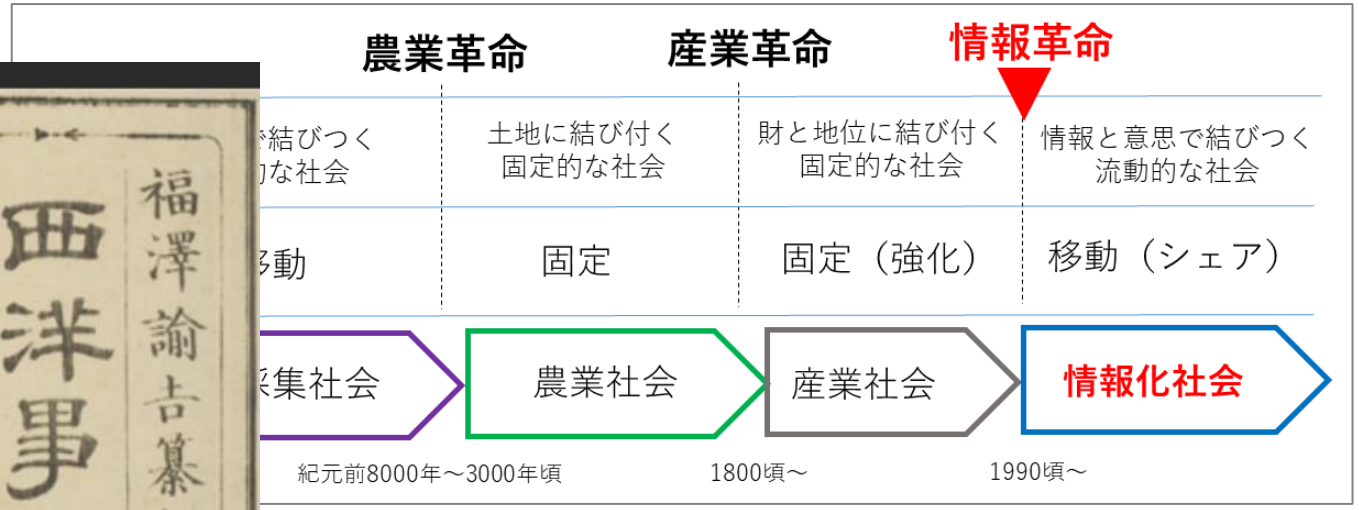
③すべてをコントロールすることはできない≒**情報免疫力**

情報化社会は「量」から「質」の時代へ

© 2021 Shihoko.aoki All ri

②これからの社会を展望する

1990年ごろに起きた情報革命によってもたらされた人類進化の社会



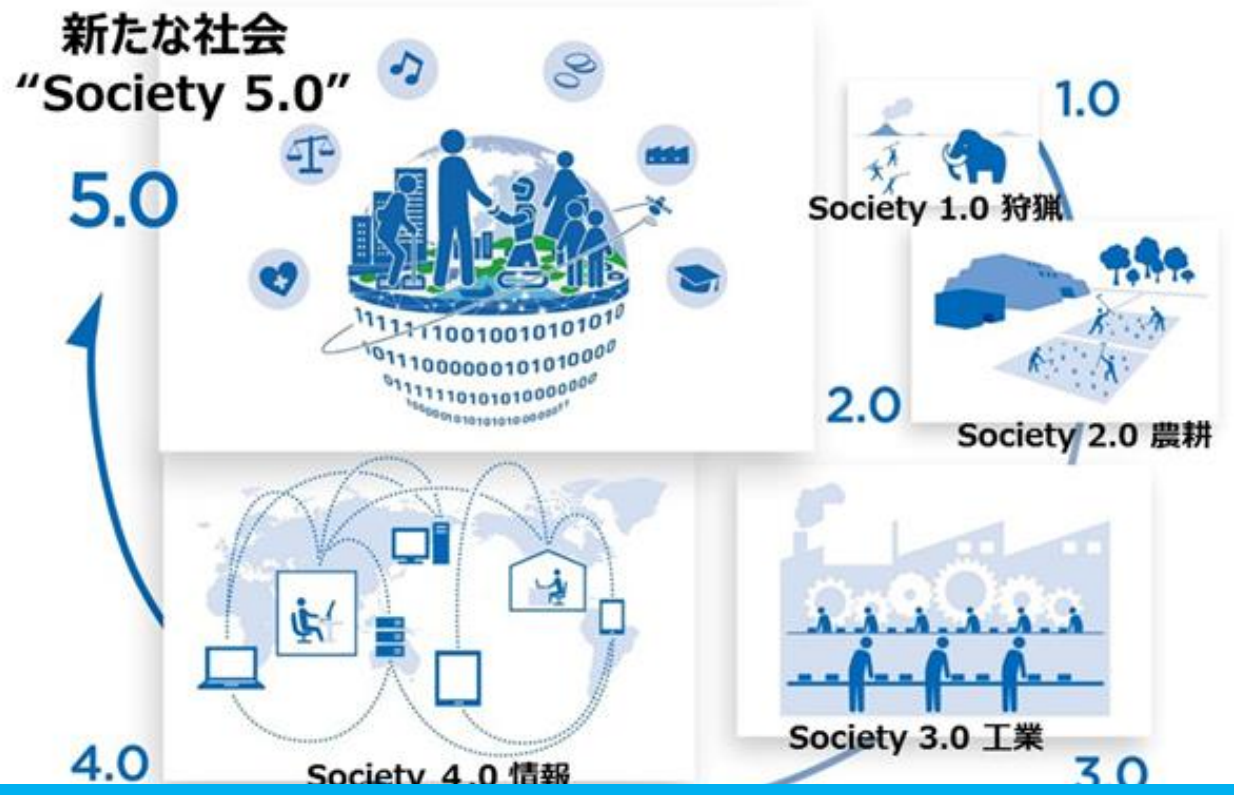
青木志保子, OPINION PAPER No.22(18-005)価値観で結びつくこれからの家族の形
～家族と財の関係性への考察～より一部改変

Scaling Bitcoin 2018, Jun Murai, Invited Talk: Deploying Blockchain At Scale. Lessons from the Internet Deployment in Japan.発表資料より

1、多くの人の間を　2、瞬時に　3、低コストで　4、双方向に
情報を流通させることができる社会

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

情報化社会の次にある‘Society 5.0’



情報化社会は「量」から「質」の時代へ

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

Society5.0 「経済発展」と「社会課題解決」の両輪

内閣府HPより　https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

「社会課題」とはなにか

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

④これからの社会を展望する

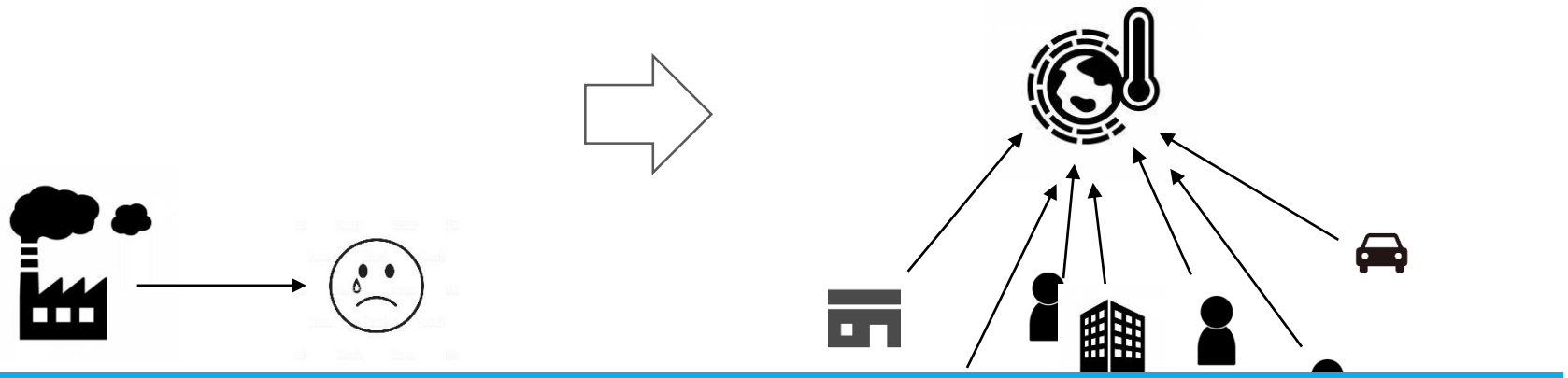
社会課題：
利便化、多様化、複雑化、など成熟社会の「チリツモ」現象であり
一種の「老化」「限界」現象。

公害モデル（一部・単一ベクトル）

- ✓ 場所は特定
- ✓ 原因は明確
- ✓ 対策しやすい（私が悪かった）

温暖化モデル（エリア・複数ベクトル）

- ✓ 場所の点在化
- ✓ 原因の多様化
- ✓ 対策しにくい（総論ＯＫ・私はやらない）

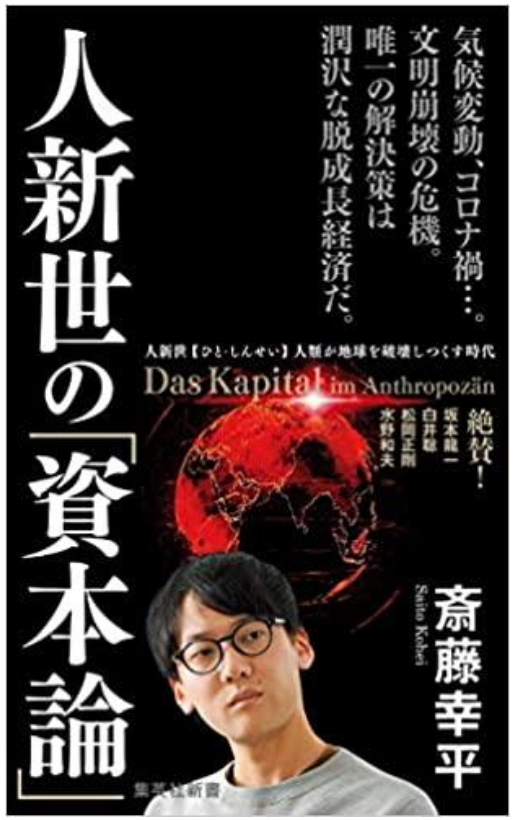


システムの‘臨界点’サイン

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

Society5.0 「経済発展」と「社会課題解決」の両輪？

「高原社会」



「脱成長コミュニズム」

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

②これからの社会を展望する

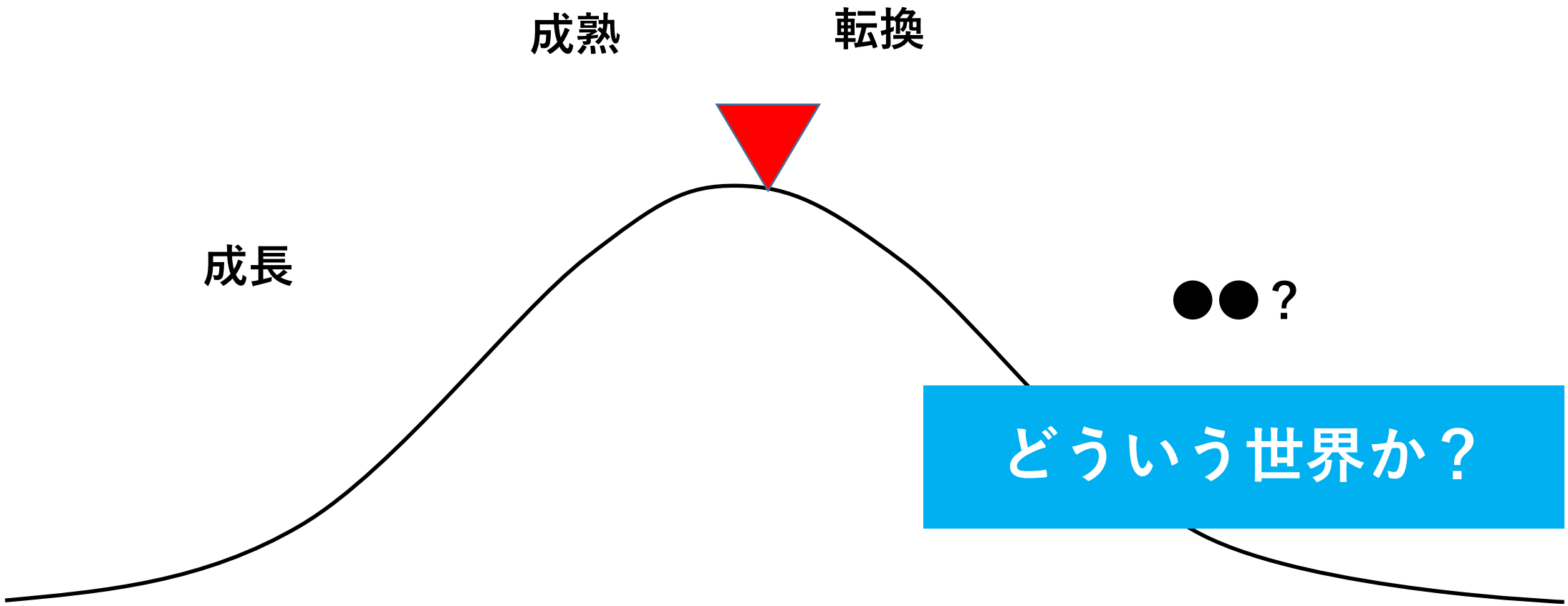
2000年
大気学者　パウル・クルッツェン
‘人新世（アントロポセン）’

1950年頃～
人間活動の爆発的増大を指す「グレート・アクセラレーション」。
第二次世界大戦後に急速に進んだ人口の増加、グローバリゼーション、工業における大量生産、農業の大規模化、大規模ダムの建設、都市の巨大化、テクノロジーの進歩といった社会経済における大変化は、二酸化炭素やメタンガスの大気中濃度、成層圏のオゾン濃度、地球の表面温度や海洋の酸性化、海の資源や熱帯林の減少

https://www.10plus1.jp/monthly/2017/01/issue-09.php

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

②これからの社会を展望する



© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

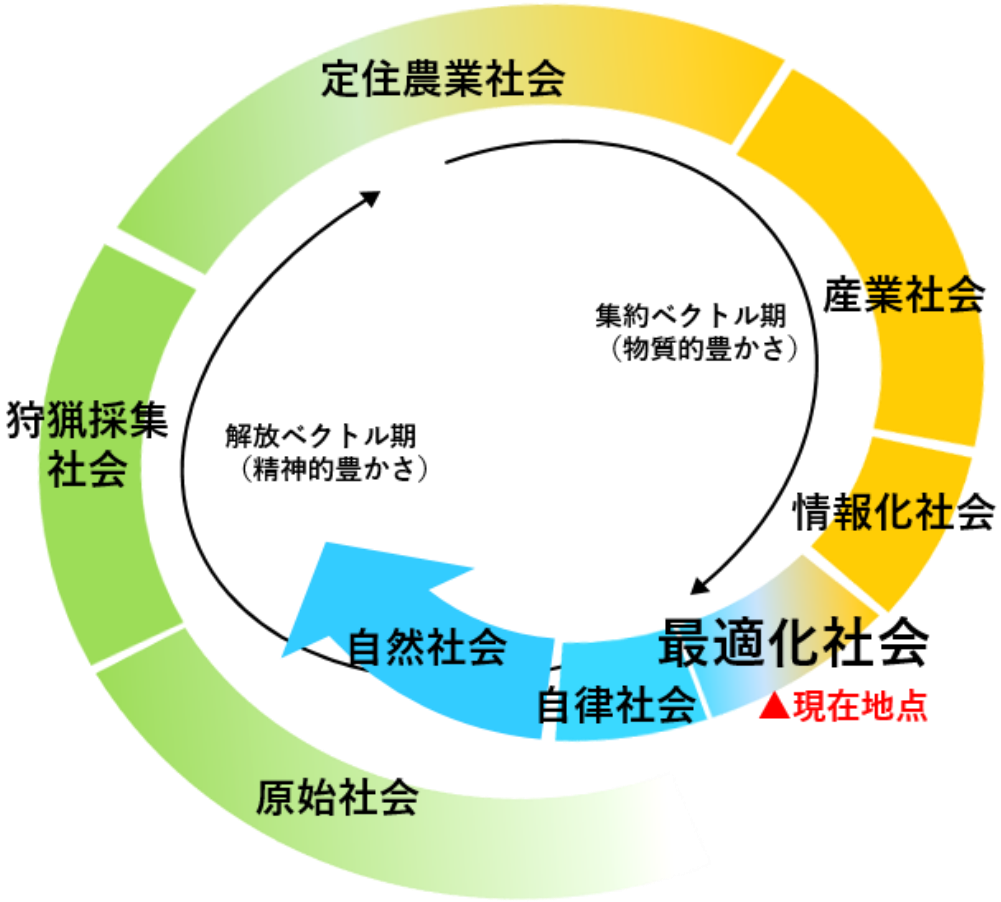
②これからの社会を展望する

ヒントは自然・地球・宇宙にある

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

②これからの社会を展望する

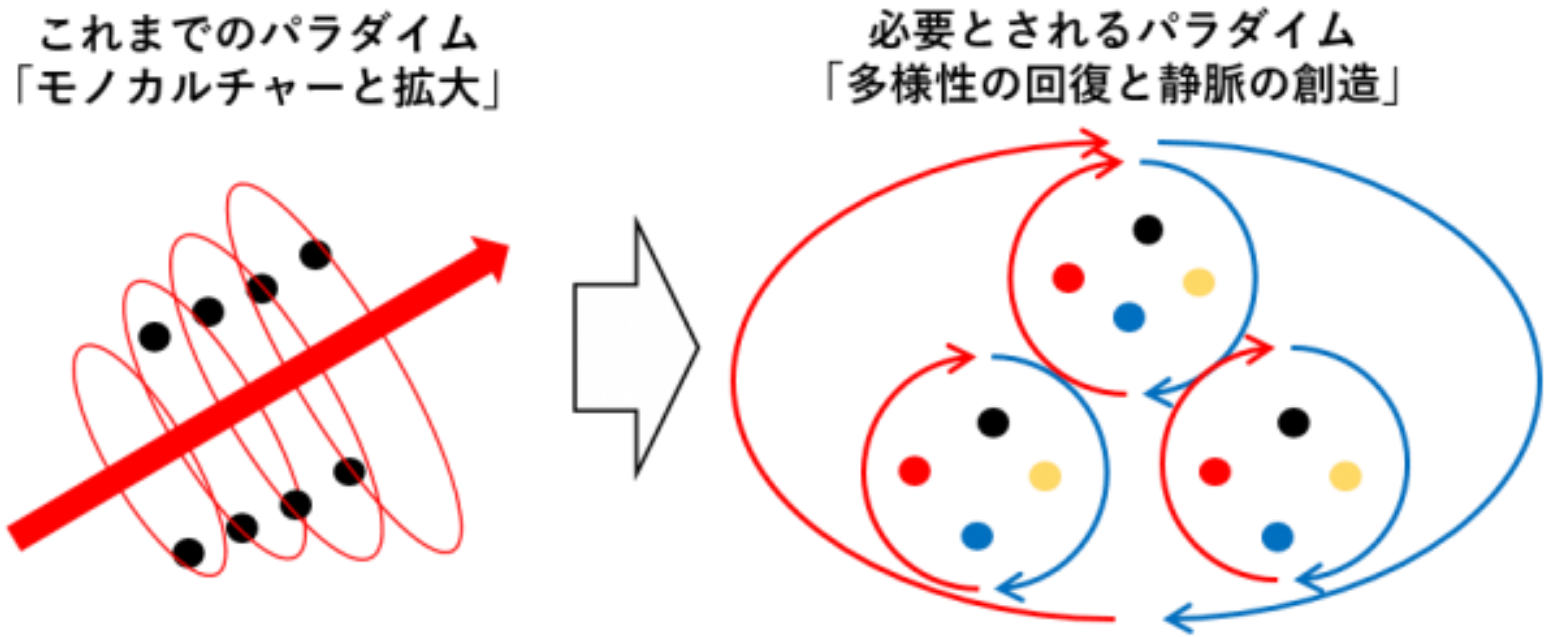
SINIC理論から考える未来



青木志保子
OPINION PAPER No.31(20-002)
情報化社会の先にあるもの ～人類の円環的進化の考察～
より
https://www.glocom.ac.jp/publicity/opinion/5136

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

私たちへの問い：
「外部化経済を行って成長拡大してきた（帝国生活様式）からどのようにシステム、そして意識を変化させるのか？」



青木志保子
OPINION PAPER No.32(20-003)
次世代に続く新たなパラダイムの創造を
～COVID-19を契機に考える未来～より
https://www.glocom.ac.jp/publicity/opinion/5481

①多様性　②静脈

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

オランダ
サーキュラーエコノミー

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

③ダイバーシティとこれからの働き方・生き方

③ダイバーシティとこれからの働き方・生き方

‘我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。
こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています。
「働き方改革」は、この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しています。‘

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

④これからの社会を展望する

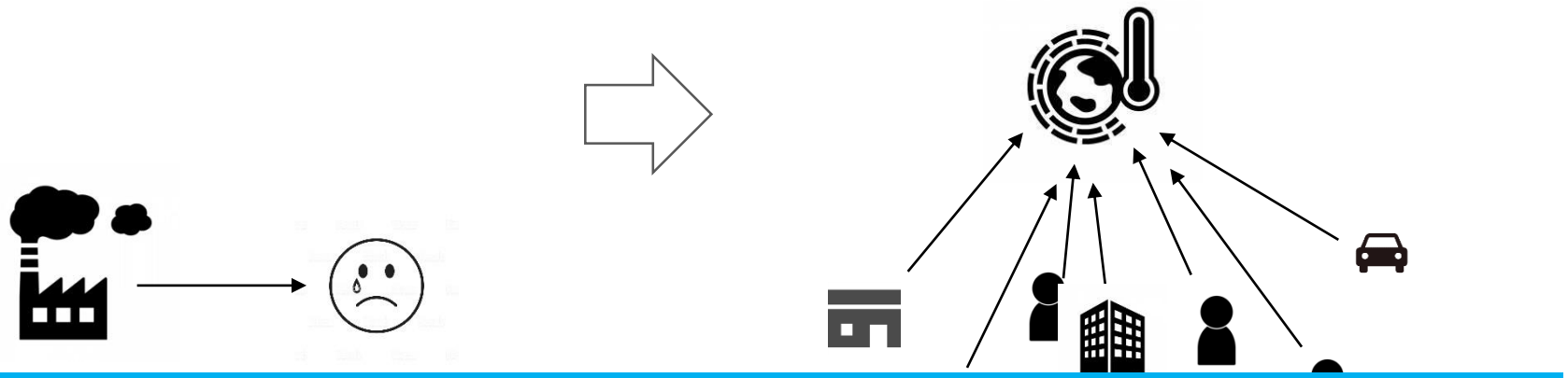
社会課題：
利便化、多様化、複雑化、など成熟社会の「チリツモ」現象であり
一種の「老化」「限界」現象。

公害モデル（一部・単一ベクトル）

- ✓ 場所は特定
- ✓ 原因は明確
- ✓ 対策しやすい（私が悪かった）

温暖化モデル（エリア・複数ベクトル）

- ✓ 場所の点在化
- ✓ 原因の多様化
- ✓ 対策しにくい（総論ＯＫ・私はやらない）



システムの‘臨界点’サイン

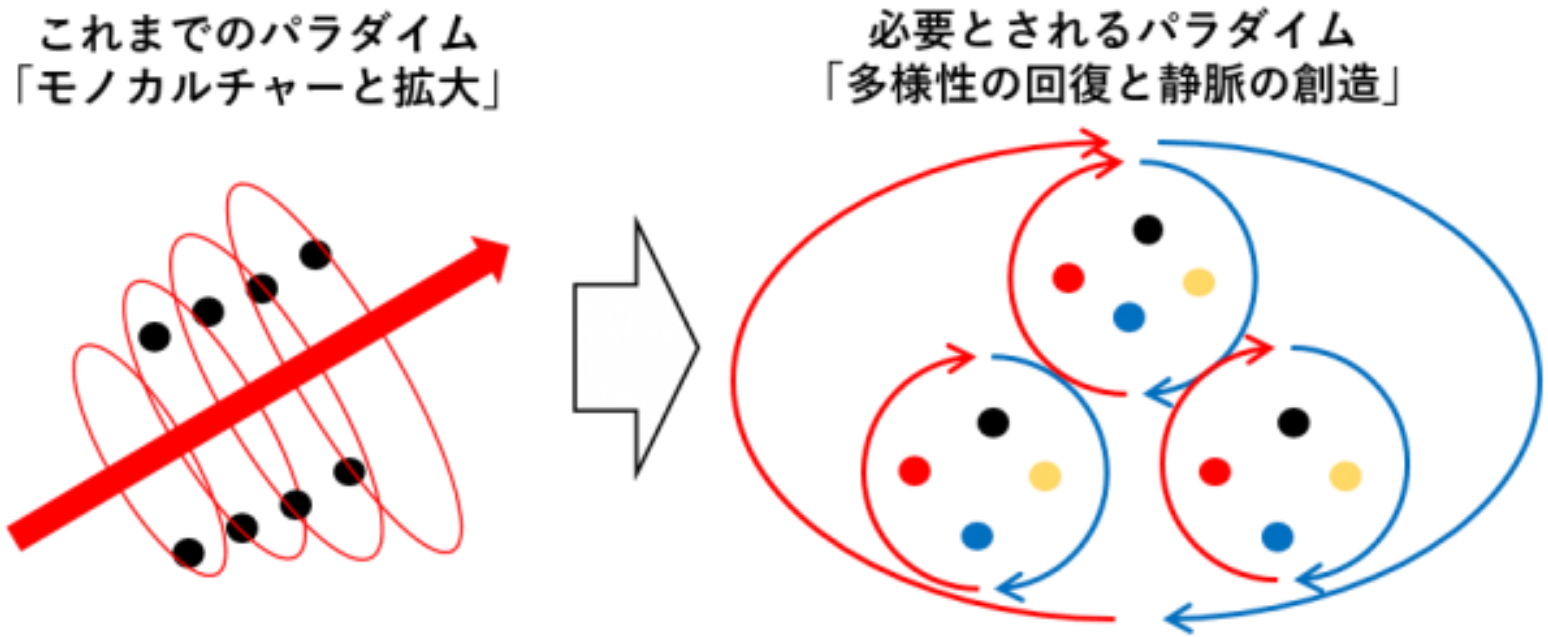
© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

働き方・生き方を改善するだけではなく

システム（OS)を変える必要がある

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

私たちへの問い：
「外部化経済を行って成長拡大してきた（帝国生活様式）からどのようにシステム、そして意識を変化させるのか？」



青木志保子
OPINION PAPER No.32(20-003)
次世代に続く新たなパラダイムの創造を
～COVID-19を契機に考える未来～より
https://www.glocom.ac.jp/publicity/opinion/5481

①多様性　②静脈

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

①多様性

幼老複合施設

事業構想2015年11月号
https://www.projectdesign.jp/201511/child-care-support/002513.php

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

分身ロボットカフェ

①多様性

株式会社オリィ研究所

https://dawn2019.orylab.com/

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

①多様性

「個人」から、「分人」へ

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

②静脈

https://news.yahoo.co.jp/byline/tokurikimotohiko/20190117-00111512/

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

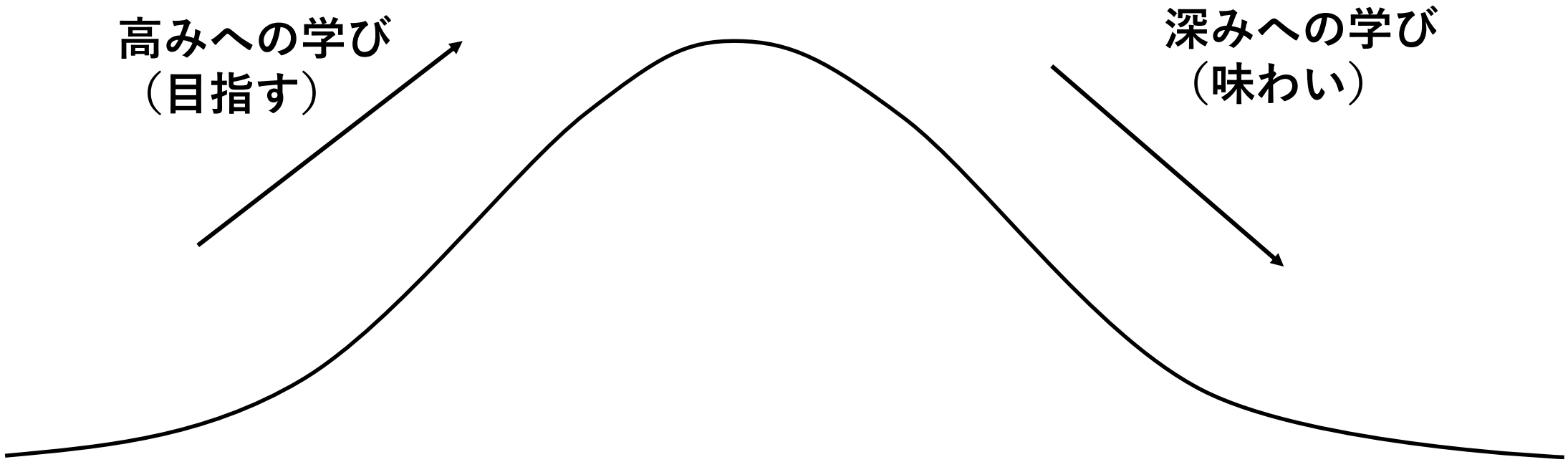
③ダイバーシティとこれからの働き方・生き方

②静脈

https://hoshinoya.com/karuizawa/

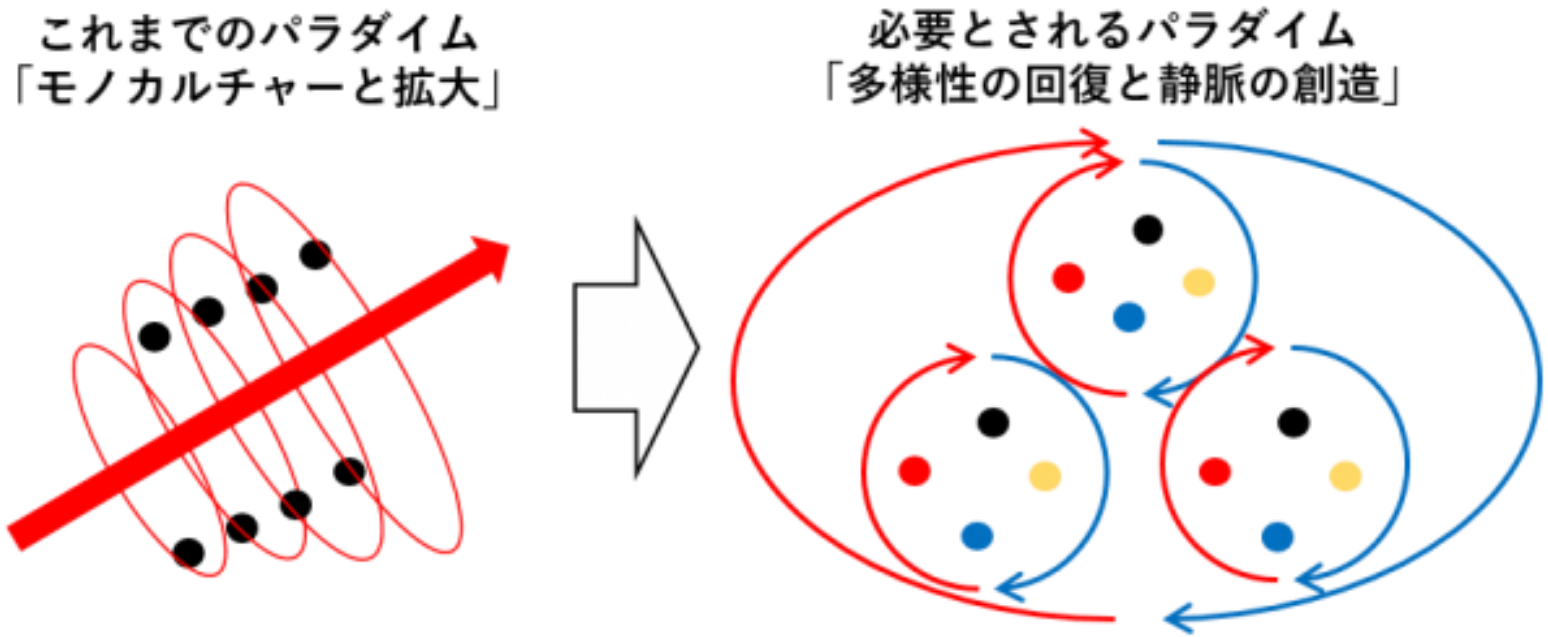
© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

②静脈



© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

私たちへの問い：
「外部化経済を行って成長拡大してきた（帝国生活様式）からどのようにシステム、そして意識を変化させるのか？」



青木志保子
OPINION PAPER No.32(20-003)
次世代に続く新たなパラダイムの創造を
～COVID-19を契機に考える未来～より
https://www.glocom.ac.jp/publicity/opinion/5481

①多様性　②静脈

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

さいごに

ダイバーシティとこれからの働き方・生き方

- 時代の変化　：「成長」から「循環」へ
- 人生への学び：「成功」から「味わい」へ

私たちは今地球規模の分岐点に立っており
そのために今システムを変える必要がある。

大切になるのが①多様性　②静脈

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.

ご清聴ありがとうございました。

ご質問などお気軽にメールまで。

saoki@glocom.ac.jp

© 2021 Shihoko.aoki All rights reserved.